



ホスピタリティ溢れるスタッフ。地元住民には憩いの場として、旅行者には陸前高田の風物を体験してもらうベースだ。客室はデラックスツイン・スーパーアツイン・バリアフリーツイン・スタンダードツインの4タイプ。ホテル内部はシックなインテリアでまとめられている。

陸前高田市
RIKUZENTAKATA

キャピタルホテル1000株式会社

【いわて産業振興センター活用事例】 震災復興専門家派遣事業などを利用

代表取締役社長
松田 修一

風光明媚な高田松原海岸に接し、陸前高田市の観光拠点として歴史を刻んでいたキャピタルホテル1000。街を襲った大津波により7階建てのホテルは4階まで浸水、高田松原の風景とともに失われてしまった。しかし復活を望む多くの市民の声と経営陣の熱意で、再建計画がスタート。平成25年11月、市内の高台に移転再開を果たした。新施設は地上3階建て、全40室はすべてツイン仕様とし夫婦やファミリー客を意識。ほかレストランや大浴場、宴会場やチャペルなども完備、宿泊から会合、宴

会などへも対応する。

再開から2年、今も復興支援関係者の宿泊は多いというが、松田修一社長は「ホテルは地元の人にとっても憩いの場であるべき」と経営理念を語る。気仙地域に居住歴のある人などを対象とした特別料金宿泊プランはホテル需要の多い年末年始からあえて実施し、帰省客の増加に貢献。またランチや宴会そして結婚披露宴など、住民にも気軽に利用できる工夫を凝らす。

ホテルのロビーからは、かさ上げ造成が進むかつての市街地が見渡せる。今夏には

大型商業施設の建設が始まり、平成32年度には国営の復興祈念公園の整備も予定されているという。「まさにゼロからの町づくり。刻々と風景が変わっていく様子は他では見られない」と松田社長。この地に立つホテルとして、にぎわいを産み交流人口を増やすためのツアーやプログラムを主催すべく、官公庁と民間がともに協議していく「下地づくり」の時期が来たと感じている。

「宿泊を持っているのが我々の強み。観光素材を組み立てて、一分一秒でも長く陸前高田に滞在して欲しいですね」。

生まれ変わる陸前高田を
体験するための拠点として

企業データ

会社名 キャピタルホテル1000株式会社
本社 陸前高田市高田町字長砂60-1
電話 0192-55-3111
代表者 松田 修一

創業 平成23年(2011)12月
従業員 34名
業種 宿泊業
URL <http://www.capitalhotel1000.jp/>